

# Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局  
東部教育局  
〒680-0061鳥取市立川町六丁目176番地  
東教発 R.8.1.9 No.184  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

一人ひとりが輝く教育へ

局長 蓮佛 俊敬

新年あけましておめでとうございます。令和8年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。干支は十干と十二支の組み合わせで60通りあり、ちょうど還暦と同じく60年で一巡します。前回の丙午である1966年（昭和41年）は、迷信の影響から出生数が大きく減少した年でした。前年の約182万人から約136万人へと、わずか一年で46万人も出生数が減りました。

それから60年。昨年末の予測によれば、2025年の出生数は約68万6千人となる見込みです。もはや迷信に左右される時代ではありませんが、加速度的に進む少子化の波は、私たちの社会や地域、そして教育の現場に、かつてないほど深刻な課題を突きつけています。

しかし、子どもの数が減る時代だからこそ、これまで以上に一人ひとりの存在が輝きを増していることも事実です。現在の教室には、学習のつまずきや発達の特性、心の葛藤、家庭環境の変化など、多様な背景をもつ子どもたちがいます。私たちはこの現状を、単なる「課題」と捉えるのではなく、教育のあり方を進化させる好機と捉えるべきではないかと思います。一人ひとりを丁寧に見取り、つまずきには早く手を差し伸べ、得意なことは思い切り伸ばす。学び方も背景も異なる子どもたちの「違い」を、克服すべき「課題」ではなく、これから社会を創る「強み」として生かしていくことが求められていると考えます。

「丙」は火が燃え上がる情熱を、「午」は大地を前へ駆ける力を象徴しています。子ども一人ひとりの成長は、学級の空気を変え、学校全体の活力となり、やがて、ふるさと鳥取の未来を牽引する熱や光となります。人口減少社会という未知の時代を生きる子どもたちの未来が、希望に満ちた明るいものとなるよう、教職員の皆様、そして地域の皆様と心を一つにして、力強く教育を前に進めていきたいと思います。

## 学力向上

## 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト（小学校国語科）

県教育委員会では、令和5年度から「子どもが伸びる授業づくりプロジェクト」を実施しています。1月19日（月）には、鳥取市立稻葉山小学校において、これまででも御指導くださっている樺山敏郎氏（大妻女子大学教授）を招聘し、公開授業及び研究会が行われます。「国語の授業はどうつくればいいの？」「単元計画を児童とつくるにはどうすればいいの？」など、授業づくりで悩んでいる先生方がいらっしゃるのではないでしょうか。本公開授業及び研究会は、皆様の今後の授業改善や研究の取組につながる大変よい機会になると思います。ぜひ御参加ください。

1月19日（月）鳥取市立稻葉山小学校

## 【公開授業】

## ◎第2学年 国語科

単元名「だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう」

教材名「ロボット」（光村図書）

授業者 山村 香織 教諭

## ◎第3学年 国語科

単元名「読んで考えたことをつたえ合おう」

教材名「ありの行列」（光村図書）

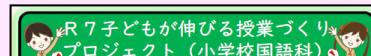
授業者 山口 央樹 教諭

## 【指導助言】

講師 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎 氏

(研修コード)  
小中学校課 25015  
(申込期限)  
令和8年1月13日(火)

申込締切日間近です！  
全国教員研修プラットホーム「Plant」からお申込みください！



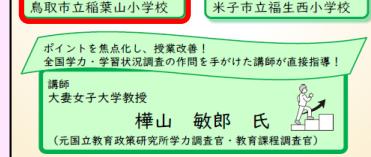
## 研究発表会(2年目校)

県立校の2年間のプロセス及び成果等について発表します！



## 公開授業及び研究会(1年目校)

1月19日(月) 鳥取市立稻葉山小学校 2月9日(月) 米子市立福生西小学校



●対象者 小・中・義務教育学校の教職員等  
・市町村（学校組合）教育委員会事務局の指導主事等

【お問い合わせ】鳥取県教育委員会事務局 小中学校課  
学びの改善推進室 TEL 0857-26-7911

1月の校内授業研究会等の  
情報はこちから →



エキスペート教員の  
公開授業はこちから →



次のページへ続きます

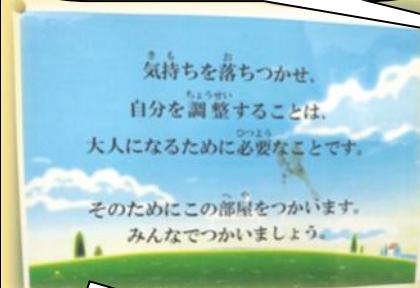
## 特別支援教育の充実

# 特別支援学級における指導支援の工夫 パート2 ～特別支援教育専門員による巡回相談から～

特別支援教育専門員による第2回巡回相談を実施しました。ご多用の中対応してくださりありがとうございました。7月に発行したTobu通信号外第4号では、訪問の中で見られた小学校での素晴らしい取組の一部を紹介しました。今回は、中学校の取組の一部を紹介します。小学校から中学校へ引き継いだ力をさらに伸ばす工夫や高校入試に向けた中学校ならではの取組等もありました。各学級の経営方針や児童生徒の実態等に応じて参考にしてください。

### 教室環境 (物的環境) の工夫

姿見鏡を壁にかけ、いつでも何度も自分で身だしなみを確認できる手立て。



クールダウンコーナーを活用する目的を掲示し、肯定的に活用できる手立て。

日々の学級生活の中で、大切にしたいことを掲示し、繰り返し確認。



箱型クールダウンコーナーを設置。



一人で集中して学びたい生徒のための空間の確保。座位での学びが有効な生徒にも効果的な支援。衝立を開くと、半個室になる。

誰もが見やすく、片付けやすい。ユニバーサルデザインの視点で環境を整える。



教科別ファイルで持ち物管理をサポート。指導を重ねた結果、今では、ファイルがなくても自分でロッカーを整えられる。

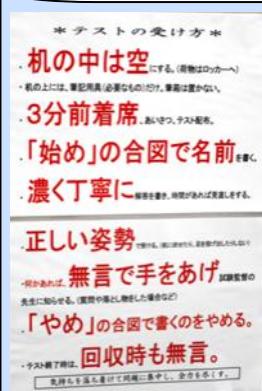
感情が高ぶった時に、気持ちを視覚的に捉えるための手だて。

生徒の頑張りを見る化。



### 番外編 高校入試に向けての工夫

テストの時の持参物を視覚的に提示。



### テストの時の筆記用具



面接のポイントを写真と言葉で見える化。

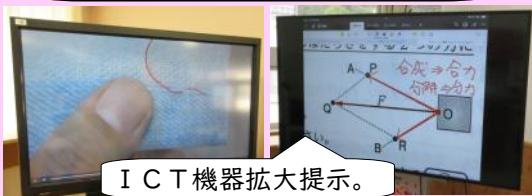


E ★ 教室に掲示してあることで、いつでも、何度も、繰り返し確認できます。見通しの持ちにくい生徒も安心して受験に臨める素晴らしい支援ですね。

## 授業づくりの工夫

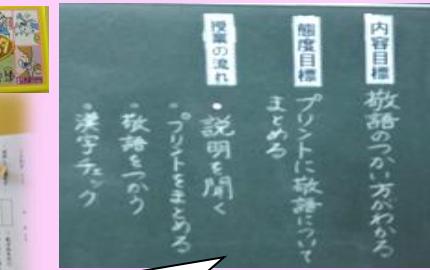
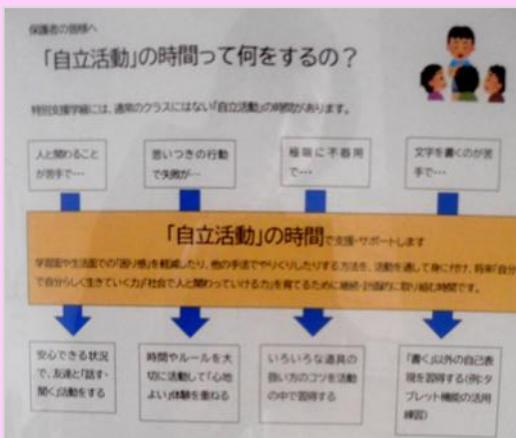
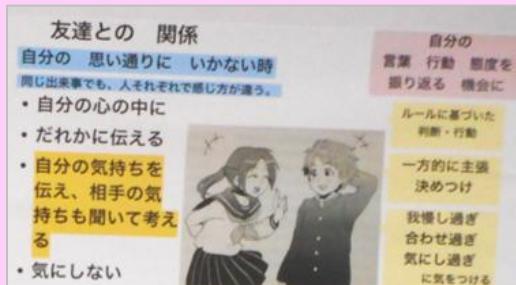


英単語の意味、ことわざの意味をイラストをヒントに考えたり覚えたりする工夫。生徒の「わかった」「できた」を保障する、実態に応じた指導の工夫。

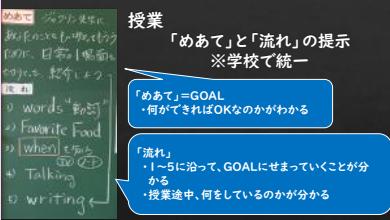


## ICT 機器拡大提示。

生徒自身が自立活動を学ぶ意義を理解して、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するためのスキルを身に付ける取組です。



「内容目標」「態度目標」  
「授業の流れ」を提示。誰もが  
安心して学習できる授業のユニ  
バーサルデザインを意識。



プリント学習、小学校の復習もOK。自分の学びに自信を持ち、安心して学べる工夫。



＜取組について情報を提供してくださった学校＞

- ・鳥取市立河原中学校
  - ・鳥取市立江山学園
  - ・鳥取市立桜ヶ丘中学校
  - ・鳥取市立千代南中学校
  - ・鳥取市立中ノ郷中学校
  - ・鳥取市立南中学校
  - ・鳥取市立北中学校
  - ・八頭町立八頭中学校

9月から実施した第2回の巡回相談では、自立活動で自分の課題に主体的に向かう姿や、学習のねらいに粘り強く取り組む姿に出会い、子どもたちの成長を実感しました。ICTの活用、視覚化や焦点化など、様々な工夫を日々積み重ねてこられた先生方の努力とその成果に胸が熱くなりました。本号で紹介した取組等を、各学級の経営方針や児童生徒の実態等に応じて参考にしてください。今後、学年の仕上げや評価、次年度の教育課程の準備、引継ぎ等が始まります。どのような相談も一緒に考えていきたいと思いますので、気軽に相談員（東部教育局 特別支援教育専門員 吉田（0857-20-3672））へ御連絡ください。お願ひします。